



現在は名古屋大学が運用する「電波ヘリオグラフ」。直径80cmのアンテナが84台並ぶ。

宇宙の電波を捉えるロマン

さわやかで水蒸気や降雪が少なく、電波観測に最適な南牧村野辺山。ここに電波望遠鏡を使って宇宙や太陽の姿を観測している国立天文台野辺山宇宙電波観測所があります。開設当時から一般の方に見学コースの公開を行ない、約100基ある天文観測装置を間近に見ることができます。

広い構内には電波望遠鏡のほか、解説パネル・展示室・受信体験ができる模型などがあり、天文ファンでなくても楽しめます。特に日本最大のミリ波電波望遠鏡である「45m電波望遠鏡」の大きさは圧巻。



直径10mあるアンテナ6基を合わせた「ミリ波干渉計」。

この観測所の電波観測で発見された、渦巻銀河中心部のブラックホールなどは、宇宙の謎に迫る世界的な成果です。また同所は、地球などの太陽系が属する天の川銀河を観測する「風神 (FUGIN) 計画」により、星の誕生メカニズムの解明にも挑んでいます。



国立天文台 (南佐久郡南牧村)

野辺山宇宙電波観測所



宇宙から届くさまざまな情報を捉える巨大アンテナ。SF映画のような景観が未知への想像をかきたてます。標高1350mの野辺山高原にある、電波天文学の世界的拠点を訪れ、ワクワク感を満喫しませんか。



直径45m、重さ700トンの電波望遠鏡。巨大なアンテナで宇宙からの微弱電波もキャッチします。スタッフの皆さんが呼ぶ愛称は「コンゴ」。1982年より続く観測は今後も継続されています。展示室の解説パネルはわかりやすく、パソコンのクイズでも楽しく学べます。



星の輝きが強い野辺山高原の夜

標高が高く、JR最高地点や日本一高い野辺山駅がある野辺山高原は、晴れた夜には澄んだ空気のもとで強く輝く星空を楽しめます。



長野県は「宇宙県」



長野県は日本の中で最も「宇宙」が身近な県です。

長野県は、日本一の平均標高、美しい星空、宇宙航空産業があるほか、プラネタリウムや東京大学木曽観測所・JAXA臼田宇宙空間観測所等の天文研究施設も多数あり、「宇宙に近い」という魅力的な資産を持つ県です。

施設案内

国立天文台 野辺山宇宙電波観測所 見学

- 所在地** 〒384-1305 南佐久郡南牧村野辺山462-2
TEL 0267-98-4300
URL <http://www.nro.nao.ac.jp>
- 見学** 入場は無料です。見学の所要時間は1時間程度。自由に見学コースを回ることができます。
- 通常公開** 年末年始12/29～1/3を除き毎日見学できます。8月下旬の土曜日に、年に1度の特別公開日を予定。
- 公開時間** 通常8:30～17:00、夏季は18:00まで(7/20～8/31)
- 交通案内** JR小海線：野辺山駅下車徒歩40分
上信越自動車道「佐久IC」から国道141号線で約1時間
中央自動車道「小淵沢IC」から県道11号線め約40分

注意事項：宇宙からの微弱な電波を観測しているので、入場された方は携帯電話の機内モードへの設定や、無線機能付きのパソコン・カメラの電源をお切りいただくなど、ご協力をお願いします。



※このページの写真は全て「国立天文台野辺山」に提供していただきました。